

大規模地震対策の検討及び推進

内閣府における作業

①対象地震の特定

東日本大震災を受けて、**最大クラスの地震**を検討

②地震モデルによるシミュレーション

震度、津波高、津波到達時間、浸水深等を想定



③人的・物的被害を想定

④経済的被害を想定

建築物の倒壊等に伴う**直接被害**の推計
交通網、ライフライン等への**被害**の様相の設定
経済活動への**影響(間接被害)**の推計



⑤地震・津波対策を取りまとめ

個々の施策に**ブレークダウン**




⑥ガイドライン、マニュアル等を作成

⑦関係省庁、地方公共団体、民間事業者が地震・津波対策を推進

南海トラフの巨大地震モデル検討会

- 専門的見地から、最大クラスの地震モデルを設定(断層、震源域、応力低下量、すべり量等)
- 震源域毎にシミュレーションを実施(過去の大地震の記録で検証)

南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ

- 様々な分野における被害の設定・推計
- 
- 被害想定等に基づく新たな課題等を踏まえた、地震・津波対策の検討

大規模地震防災・減災対策大綱(中央防災会議決定)

- 今後の課題として検討すべき施策、個別の具体的な施策を網羅的に取りまとめたもの

- 必要に応じ、**個別テーマの検討会や調査等を実施し**、より効果的・具体的な対策の推進方法等を検討

(最終目標) 発災時における被害軽減